

---

## 平成22年度第3四半期報告

---

第一フロンティア生命保険株式会社（社長：堤 悟）の平成22年度第3四半期の業績は添付のとおりです。

※資料中、「第3四半期累計期間」は「4月1日～12月31日」を、「第3四半期会計期間」は「10月1日～12月31日」を表しております。

<目次>

1. 主要業績	……	1 頁
2. 資産運用の実績（一般勘定）	……	3 頁
3. 四半期貸借対照表	……	6 頁
4. 四半期損益計算書	……	7 頁
5. 経常利益等の明細（基礎利益）	……	9 頁
6. ソルベンシー・マージン比率	……	10 頁
7. 特別勘定の状況	……	11 頁
8. 保険会社およびその子会社等の状況	……	11 頁
（参考）第3四半期会計期間の業績	……	12 頁
（参考）証券化商品等への投資およびサブプライム関連投資の状況	……	15 頁

以上

# 1. 主要業績

## (1) 保有契約高および新契約高

### ・保有契約高

(単位：千件、百万円、%)

区分	平成22年度 第3四半期会計期間末				平成21年度末	
	件数		金額		件数	金額
		前年度末比		前年度末比		
個人保険	0	-	58	-	-	-
個人年金保険	252	113.4	1,407,688	109.9	222	1,280,943
団体保険	-	-	-	-	-	-
団体年金保険	-	-	-	-	-	-

(注) 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

### ・新契約高

(単位：千件、百万円、%)

区分	平成21年度 第3四半期累計期間				平成22年度 第3四半期累計期間					
	件数	金額			件数	前年同期比	金額			
		新契約	転換による純増加				前年同期比	新契約	転換による純増加	
個人保険	-	-	-	-	0	-	58	-	58	-
個人年金保険	137	732,213	732,213	-	32	24.0	171,381	23.4	171,381	-
団体保険	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
団体年金保険	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 新契約の個人年金保険の金額は年金支払開始時における年金原資です。

## (2) 年換算保険料

### ・保有契約

(単位：百万円、%)

区分	平成22年度 第3四半期 会計期間末		平成21年度末
		前年度末比	
個人保険	3	-	-
個人年金保険	144,251	112.3	128,433
合計	144,254	112.3	128,433
うち医療保障・ 生前給付保障等	-	-	-

### ・新契約

(単位：百万円、%)

区分	平成21年度 第3四半期 累計期間	平成22年度 第3四半期 累計期間	
			前年同期比
個人保険	-	3	-
個人年金保険	77,130	18,531	24.0
合計	77,130	18,534	24.0
うち医療保障・ 生前給付保障等	-	-	-

(注) 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。

## 2. 資産運用の実績（一般勘定）

### （1）資産の構成

（単位：百万円、％）

区分	平成22年度 第3四半期会計期間末		平成21年度末	
	金額	占率	金額	占率
現預金・コールローン	11,002	4.0	24,698	10.1
買現先勘定	-	-	-	-
債券貸借取引支払保証金	-	-	-	-
買入金銭債権	-	-	-	-
商品有価証券	-	-	-	-
金銭の信託	48,023	17.6	33,426	13.6
有価証券	168,006	61.4	142,064	57.8
公社債	130,245	47.6	114,508	46.6
株式	-	-	-	-
外国証券	37,760	13.8	27,556	11.2
公社債	31,128	11.4	21,987	9.0
株式等	6,632	2.4	5,569	2.3
その他の証券	-	-	-	-
貸付金	-	-	-	-
不動産	-	-	-	-
繰延税金資産	-	-	-	-
その他	46,543	17.0	45,426	18.5
貸倒引当金	△21	△0.0	△16	△0.0
合計	273,553	100.0	245,599	100.0
うち外貨建資産	2,978	1.1	-	-

## (2) 有価証券の時価情報 (売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの)

(単位：百万円)

区分	平成22年度第3四半期会計期間末					平成21年度末				
	帳簿価額	時価	差損益			帳簿価額	時価	差損益		
			差益	差損	差益			差損		
満期保有目的の債券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
責任準備金対応債券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
子会社・関連会社株式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他有価証券	158,199	161,374	3,175	3,390	214	134,627	136,495	1,868	1,928	59
公社債	127,382	130,245	2,862	2,955	92	112,790	114,508	1,717	1,767	49
株式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外国証券	30,816	31,128	312	434	122	21,836	21,987	150	160	10
公社債	30,816	31,128	312	434	122	21,836	21,987	150	160	10
株式等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の証券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
買入金銭債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
譲渡性預金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	158,199	161,374	3,175	3,390	214	134,627	136,495	1,868	1,928	59
公社債	127,382	130,245	2,862	2,955	92	112,790	114,508	1,717	1,767	49
株式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外国証券	30,816	31,128	312	434	122	21,836	21,987	150	160	10
公社債	30,816	31,128	312	434	122	21,836	21,987	150	160	10
株式等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の証券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
買入金銭債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
譲渡性預金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

・時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券の帳簿価額

該当事項はありません。

(3) 金銭の信託の時価情報

(単位：百万円)

区分	平成22年度第3四半期会計期間末					平成21年度末				
	貸借対照表計上額	時価	差損益			貸借対照表計上額	時価	差損益		
			差益	差損				差益	差損	
金 銭 の 信 託	48,023	48,023	-	-	-	33,426	33,426	-	-	-

・運用目的の金銭の信託

(単位：百万円)

区分	平成22年度第3四半期会計期間末		平成21年度末	
	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益
運用目的の金銭の信託	48,023	1,697	33,426	△ 12,911

・満期保有目的、責任準備金対応、その他の金銭の信託

該当事項はありません。

### 3. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	平成22年度第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日現在)	平成21年度末要約貸借対照表 (平成22年3月31日現在)
	金 額	金 額
(資産の部)		
現金及び預貯金	10,445	9,700
コールローン	7,800	20,300
金銭の信託	48,023	33,426
有価証券	1,426,538	1,313,552
(うち国債)	( 58,749 )	( 45,134 )
(うち地方債)	( 1,972 )	( 2,135 )
(うち社債)	( 69,524 )	( 67,237 )
(うち外国証券)	( 37,760 )	( 27,556 )
有形固定資産	91	126
無形固定資産	1	2
再保険貸	43,258	44,519
その他資産	3,231	1,561
貸倒引当金	△ 21	△ 16
資産の部合計	1,539,370	1,423,173
(負債の部)		
保険契約準備金	1,426,154	1,300,274
支払備金	720	610
責任準備金	1,425,434	1,299,664
再保険借	949	346
その他負債	2,150	4,333
未払法人税等	6	4
その他の負債	2,144	4,329
退職給付引当金	54	32
役員退職慰労引当金	2	2
価格変動準備金	112	75
繰延税金負債	1,149	676
負債の部合計	1,430,572	1,305,742
(純資産の部)		
資本金	117,500	117,500
資本剰余金	67,500	67,500
資本準備金	67,500	67,500
利益剰余金	△ 78,227	△ 68,760
その他利益剰余金	△ 78,227	△ 68,760
繰越利益剰余金	△ 78,227	△ 68,760
株主資本合計	106,772	116,239
その他有価証券評価差額金	2,025	1,191
評価・換算差額等合計	2,025	1,191
純資産の部合計	108,797	117,431
負債及び純資産の部合計	1,539,370	1,423,173

## 4. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	平成21年度第3四半期累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年12月31日まで)	平成22年度第3四半期累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年12月31日まで)
		金 額	金 額
経常収益		848,102	208,369
保険料等収入		776,269	205,160
(うち保険料)	(	729,560)	( 171,101)
資産運用収益		71,607	3,207
(うち利息及び配当金等収入)	(	944)	( 1,272)
(うち金銭の信託運用益)	(	-)	( 1,697)
(うち売買目的有価証券運用益)	(	-)	( 133)
(うち有価証券売却益)	(	188)	( 104)
(うち特別勘定資産運用益)	(	70,474)	( -)
その他経常収益		224	0
経常費用		852,033	218,107
保険金等支払金		26,744	60,752
(うち年金)	(	91)	( 350)
(うち給付金)	(	3,392)	( 6,075)
(うち解約返戻金)	(	4,671)	( 15,641)
(うちその他返戻金)	(	1,279)	( 604)
責任準備金等繰入額		778,452	125,879
支払備金繰入額		-	109
責任準備金繰入額		778,452	125,769
資産運用費用		7,463	22,942
(うち支払利息)	(	-)	( 0)
(うち金銭の信託運用損)	(	7,181)	( -)
(うち有価証券売却損)	(	0)	( -)
(うち金融派生商品費用)	(	-)	( 24)
(うち特別勘定資産運用損)	(	-)	( 22,289)
事業費		34,906	7,962
その他経常費用		4,466	569
経常損失		3,930	9,737
特別利益		-	314
その他特別利益		-	314
特別損失		18	37
価格変動準備金繰入額		18	37
税引前四半期純損失		3,948	9,460
法人税及び住民税		3	6
法人税等合計		3	6
四半期純損失		3,952	9,467

## 注記事項

(四半期貸借対照表関係)

平成22年度第3四半期会計期間末

- 1 「破綻先」、「実質破綻先」および現状、経営破綻の状況にはないが、今後経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる債務者に対する債権以外の債権に対する貸倒引当金については、当第3四半期会計期間末の貸倒実績率等が中間会計期間末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、中間会計期間末の貸倒実績率等を使用して算定しております。
- 2 減価償却の方法として定率法を採用している資産の減価償却費については、年間減価償却費見積額を期間により按分して計上しております。
- 3 担保に供されている資産の額は、有価証券 204百万円であります。
- 4 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	当四半期会計期間末株式数
発行済株式	
普通株式	1,850

## 注記事項

(四半期損益計算書関係)

平成22年度第3四半期累計期間

- 1 1株当たり四半期純損失は5,117,413円24銭であります。なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純損失については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 5. 経常利益等の明細(基礎利益)

(単位：百万円)

	平成21年度 第3四半期累計期間	平成22年度 第3四半期累計期間
基礎利益 A	37,324	△ 10,280
キャピタル収益	188	1,955
金銭の信託運用益	-	1,697
売買目的有価証券運用益	-	133
有価証券売却益	188	104
金融派生商品収益	-	-
為替差益	-	-
その他キャピタル収益	-	20
キャピタル費用	7,182	152
金銭の信託運用損	7,181	-
売買目的有価証券運用損	-	-
有価証券売却損	0	-
有価証券評価損	-	-
金融派生商品費用	-	24
為替差損	-	128
その他キャピタル費用	-	-
キャピタル損益 B	△ 6,993	1,802
キャピタル損益含み基礎利益 A+B	30,330	△ 8,478
臨時収益	-	-
再保険収入	-	-
危険準備金戻入額	-	-
その他臨時収益	-	-
臨時費用	34,261	1,259
再保険料	-	-
危険準備金繰入額	34,261	1,259
個別貸倒引当金繰入額	-	-
特定海外債権引当勘定繰入額	-	-
貸付金償却	-	-
その他臨時費用	-	-
臨時損益 C	△ 34,261	△ 1,259
経常利益 A+B+C	△ 3,930	△ 9,737

(注) 1. 基礎利益には、次の金額が含まれております。

	平成21年度 第3四半期累計期間	平成22年度 第3四半期累計期間
外貨建商品の負債の為替変動に係る評価部分調整額	-	△ 20

2. その他キャピタル収益には、次の金額が含まれております。

	平成21年度 第3四半期累計期間	平成22年度 第3四半期累計期間
外貨建商品の負債の為替変動に係る評価部分調整額	-	20

3. 変額個人年金保険に係る最低保証リスクの軽減を目的としてデリバティブ取引(金銭の信託、外国証券(投資信託)による運用を含む)を行っております。なお、金銭の信託運用損益、売買目的有価証券運用損益は当該取引によるものです。

## 6. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項目	平成22年度 第3四半期 会計期間末	平成21年度末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	218,267	224,341
資本金等	106,772	116,239
価格変動準備金	112	75
危険準備金	46,018	44,759
一般貸倒引当金	21	16
その他有価証券の評価差額×90% (マイナスの場合100%)	2,857	1,681
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	62,484	61,570
負債性資本調達手段等	-	-
控除項目	-	-
その他	-	-
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_8)^2+(R_2+R_3+R_7)^2}+R_4$ (B)	28,998	37,789
保険リスク相当額 $R_1$	0	-
第三分野保険の保険リスク相当額 $R_8$	-	-
予定利率リスク相当額 $R_2$	10	7
資産運用リスク相当額 $R_3$	△ 14,412	△ 6,175
経営管理リスク相当額 $R_4$	844	1,100
最低保証リスク相当額 $R_7$	42,555	42,855
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,505.3%	1,187.3%

- (注) 1. 平成21年度末は、保険業法施行規則第86条、第87条、及び平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。  
平成22年度第3四半期会計期間末は、これらの規定に準じて、当社が妥当と考える手法により算出しています。
2. 最低保証リスク相当額は、標準的方式を用いて算出しています。
3. 変額個人年金保険にかかる最低保証リスクの軽減を目的として、デリバティブ取引（金銭の信託、外国証券（投資信託）による運用を含む）を利用しており、平成21年度末よりソルベンシー・マージン比率の計算に反映しております。  
デリバティブ取引による最低保証リスクの軽減効果は、平成21年度末△9,105百万円、平成22年度第3四半期会計期間末△17,842百万円であり、当該金額を資産運用リスク相当額の中に入れております。

## 7. 特別勘定の状況

### (1) 特別勘定資産残高の状況

(単位：百万円)

区分	平成22年度 第3四半期会計期間末		平成21年度末	
	件数	金額	件数	金額
個人変額保険	-	50	-	-
個人変額年金保険	-	1,266,327	-	1,178,615
団体年金保険	-	-	-	-
特別勘定計	-	1,266,378	-	1,178,615

### (2) 保有契約高

#### ・個人変額保険

(単位：千件、百万円)

区分	平成22年度 第3四半期会計期間末		平成21年度末	
	件数	金額	件数	金額
変額保険（有期型）	-	-	-	-
変額保険（終身型）	0	58	-	-
合計	0	58	-	-

#### ・個人変額年金保険

(単位：千件、百万円)

区分	平成22年度 第3四半期会計期間末		平成21年度末	
	件数	金額	件数	金額
個人変額年金保険	234	1,319,547	208	1,208,546

(注) 1. 個人変額年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

2. 決算日時点において特別勘定に投入前となっている契約については、保有契約高に含まれています。

## 8. 保険会社およびその子会社等の状況

該当事項はありません。

(参考) 第3四半期会計期間の業績

・新契約高

(単位：千件、百万円、%)

区分	平成21年度 第3四半期会計期間				平成22年度 第3四半期会計期間					
	件数	金額			件数	前年 同期比	金額			
		新契約	転換による 純増加				前年 同期比	新契約	転換による 純増加	
個人保険	-	-	-	-	0	-	58	-	58	-
個人年金保険	39	206,226	206,226	-	6	16.4	32,751	15.9	32,751	-
団体保険	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
団体年金保険	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 新契約の個人年金保険の金額は年金支払開始時における年金原資です。

・新契約年換算保険料

(単位：百万円、%)

区分	平成21年度 第3四半期会計期間	平成22年度 第3四半期会計期間	前年 同期比
	個人保険	-	
個人年金保険	22,095	3,535	16.0
合計	22,095	3,538	16.0
うち医療保障・ 生前給付保障等	-	-	-

(注) 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。

・損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	平成21年度	平成22年度
		第3四半期会計期間	第3四半期会計期間
		{ 平成21年10月1日から 平成21年12月31日まで }	{ 平成22年10月1日から 平成22年12月31日まで }
		金 額	金 額
経常収益		241,135	44,249
保険料等収入		222,894	43,532
(うち保険料)	(	205,352)	( 32,701)
資産運用収益		18,240	683
(うち利息及び配当金等収入)	(	356)	( 448)
(うち有価証券売却益)	(	82)	( 51)
(うち金融派生商品収益)	(	-)	( 183)
(うち特別勘定資産運用益)	(	17,800)	( -)
その他経常収益		0	33
経常費用		242,060	47,529
保険金等支払金		12,510	21,053
(うち年金)	(	38)	( 92)
(うち給付金)	(	1,462)	( 2,063)
(うち解約返戻金)	(	2,221)	( 5,414)
(うちその他返戻金)	(	533)	( 146)
責任準備金等繰入額		216,052	17,766
支払備金繰入額		69	-
責任準備金繰入額		215,983	17,766
資産運用費用		3,855	6,755
(うち金銭の信託運用損)	(	3,746)	( 2,173)
(うち売買目的有価証券運用損)	(	-)	( 168)
(うち特別勘定資産運用損)	(	-)	( 4,170)
事業費		8,461	1,829
その他経常費用		1,181	123
経常損失		925	3,279
特別損失		6	11
価格変動準備金繰入額		6	11
税引前四半期純損失		931	3,290
法人税及び住民税		1	2
法人税等合計		1	2
四半期純損失		932	3,292

・ 経常利益等の明細(基礎利益)

(単位：百万円)

		平成21年度 第3四半期会計期間	平成22年度 第3四半期会計期間
基礎利益	A	13,203	△ 924
キャピタル収益		82	254
金銭の信託運用益		-	-
売買目的有価証券運用益		-	-
有価証券売却益		82	51
金融派生商品収益		-	183
為替差益		-	-
その他キャピタル収益		-	19
キャピタル費用		3,746	2,422
金銭の信託運用損		3,746	2,173
売買目的有価証券運用損		-	168
有価証券売却損		-	-
有価証券評価損		-	-
金融派生商品費用		-	-
為替差損		-	80
その他キャピタル費用		-	-
キャピタル損益	B	△ 3,663	△ 2,168
キャピタル損益含み基礎利益	A + B	9,540	△ 3,093
臨時収益		-	-
再保険収入		-	-
危険準備金戻入額		-	-
その他臨時収益		-	-
臨時費用		10,466	186
再保険料		-	-
危険準備金繰入額		10,466	186
個別貸倒引当金繰入額		-	-
特定海外債権引当勘定繰入額		-	-
貸付金償却		-	-
その他臨時費用		-	-
臨時損益	C	△ 10,466	△ 186
経常利益	A + B + C	△ 925	△ 3,279

(注) 1. 基礎利益には、次の金額が含まれております。

	平成21年度 第3四半期会計期間	平成22年度 第3四半期会計期間
外貨建商品の負債の為替変動に係る評価部分調整額	-	△ 19

2. その他キャピタル収益には、次の金額が含まれております。

	平成21年度 第3四半期会計期間	平成22年度 第3四半期会計期間
外貨建商品の負債の為替変動に係る評価部分調整額	-	19

3. 変額個人年金保険に係る最低保証リスクの軽減を目的としてデリバティブ取引(金銭の信託、外国証券(投資信託)による運用を含む)を行っております。なお、金銭の信託運用損益、売買目的有価証券運用損益は当該取引によるものです。

・ 保険会社およびその子会社等の状況

該当事項はありません。

## (参考) 証券化商品等への投資およびサブプライム関連投資の状況

平成22年度第3四半期末の証券化商品等への投資およびサブプライム関連投資について、該当事項はありません。